

学園だより



ハイライト

- 保護者懇談会お疲れ様でした。
- 高校総体、中体連が行われました。
- 今年もやります！真夏の寺子屋！

第59回高校総合体育大会開会式岩田高校入場行進 2011/6/3

保護者懇談会が行われる。

～各学年主任よりご報告

保護者懇談会が行われる。	1
各学年主任よりご報告	2
1学期中間考査を終えて	3
教務主任 橋本隆史	
6月部活動の結果報告	4
特活主任 野村哲也	5
カウンセリングルームだより	6
スクールカウンセラー江藤行大	
生徒指導部より指導主任楠田克彦	7
保健室より 養護教諭 野村めぐみ	
夏のイベントのおしらせ	8

6月18日(土)授業参観と保護者懇談会が2限より行われました。高3の保護者・生徒には進学講演会を行いました。また、A PU立命館コースの保護者には岩田学園と立命館より大学取得単位に関する説明会が行われました。

当日は朝早くからたくさんの保護者の方に来校していただき、たいへんありがとうございました。以下は各学年主任から懇談会の内容の報告です。

【中1学年主任 野田大樹】

中学1年は、初めての保護者懇談会でしたが、多数の出席をいただきました。最初に、学年の取り組み、各クラスの雰囲気などを説明し、続いて中間考査の分析を行いました。総じてよく頑張って取り組んでいたということと、岩田中学校の求める勉強になっていない生徒に対する指導などを説明致しました。生徒にも、懇談会資料の中の、各担当の先生方の“学習アドバイス”

をしっかりと読んで欲しいと思います。

6月初旬に実施した、生徒の生活実態調査については、数字を追いながら、説明致しました。特に、“起床”“就寝”“学習”の3つの時間を確立し、それが守れるよう、ご家庭での協力・呼びかけもお願い致しました。

自主登校・寺子屋については、積極的な参加を呼びかけました。長期休暇になり、起床・就寝時間が不安定になり、学習時間も確保されず、生活が乱れるという悪循環を防ぐためです。学校がある日と同じ、変わらぬリズムで生活して欲しいと考えています。

4時間目は、保護者同士の親睦を深めるための「クラス茶話会」を行い、同時に御希望ある方に「個人面談」も行いました。生徒の成長のためには、学習面、生活指導面ともに家庭と学校が連携を取ることが不可欠です。今後ともよろしくお願い致します。



中1学年主任
野田大樹



中2学年主任
篠原洋祐



中3学年主任
上杉和生



高1学年主任
栗林宏文



高2年主任
立川英季



高3年主任
児玉洋司



(1ページのつづき)

【中2学年主任 篠原洋祐】

3時間目のクラス懇談では、まず中間考査や学力推移調査による分析報告を行いました。

中学校生活も2年目に入り、学習面でも特別活動・生活面でも慣れてきたようです。現在は、その良い面と悪い面との両方が顔をのぞかせています。ペースをつかんでコツコツと努力を継続できている生徒と、「慣れ」が「ダレ」につながってきちんとした生活を送れていない生徒がいます。親との会話が減ったり、反抗的な態度になったりする年頃を迎え、家庭で意識していただきたいことについて話をしました。また、家庭訪問や自主登校などの夏の予定に関しても説明しました。

4時間目には、保護者同士の懇親を深める「クラス懇親会」を実施。生徒同様クラス替えにより、新しい友達（知り合い）ができたようです。

学習面、生活面ともに家庭と学校とが連携を取りながら進めていくことが、生徒の成長には欠かせません。今後ともご協力の程、よろしくお願いいたします。

真面目に取り組もうとする生徒が多く、学年団もそれに応えていこうと意気込んでいます。将来の希望進路が実現できるように、今やるべきことを徹底させていきます。

【中3学年主任 上杉和生】

今回は中学1年の頃から受験してきた学力推移調査より、生活・学習実態調査の推移と全国比較の話をしました。この2年間の取り組みの柱である生活習慣・学習習慣の確立という面で見れば、概ね達成できていると感じています。改善するところは、学習の取り組み(方法や気持ち)にあると思います。こちらもその点に注意しながら、生活面の指導から学習面の指導にシフトしていきます。

また、今後は進研模試を受験します。学力推移調査の成績から、今後の進研模

試の予想をしました。今年度はあくまでも来年度につなげる模試であり、来年度からは自分の目標を達成できるだけの結果を出して欲しいと思います。

中学3年は中だるみの時期にあたりません。学年では、自分の進路を考えることで職業や学問への関心を高め、学習意欲の向上につなげて欲しいと思っています。懇談会への多数のご参加、ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひ致します。

【高1学年主任 栗林宏文】

岩田コースの今回の懇談会は、生徒・保護者を対象に、オーストラリアへの修学旅行(10月)に関する説明会を実施しました。パスポートをまだ持っていない者は夏休み中に取得することや、アプリケーションフォーム(ホームステイ先を決めるための申込用紙)の書き方とその重要性についての説明をJTB担当者からしていただきました。懇談会資料についてはご家庭でじっくり読んでいただくことにし、説明会後はクラス担任との個人面談(希望者)に時間を使いました。APUコースの今回の懇談会は、今後の活動スケジュールやコース費についての話、3月下旬の韓国への研修旅行(説明会は12月の予定)についての話が中心でした。また、例年通りどちらのコースも修学旅行や研修旅行で不足する授業時数の確保のため、補習期間(~7/30まで)は授業を進める予定であることを伝え、理解を求めました。昨年度同様、補習期間から8月上旬にかけて三者面談を行うことも合わせてお知らせしました。

【高2学年主任 立川英季】

高2(IWATA)は、人生最大の「両立(鼎立?)」を求められる夏になります。いよいよ学年全体で動き出した学園祭、中心メンバーとなった部活動、かといって落とすわけにはいかない学習のレベル…。教員も巻き込んだ多忙な夏のスケジュールを確認します。また、4月に実施した

スタディサポートの結果から、学年の動向を御報告し、補習期間に実施する三者面談の予備知識を共有したいと思います。

APUコースも、夏の行事予定・補習・学園祭について連絡の後、コースの活動報告や、修学旅行(3月)についての説明を予定しています。

【高3学年主任 児玉洋司】

■懇談会の概要

IWATAコースは、「大学受験に関するQ&A」がメインテーマでした。具体的には、回収した保護者アンケートの「素朴な疑問〜デリケートな疑問」について1つずつ答えました。その他、三者面談(7月下旬~)、夏の補習(7/21~29)&自主登校(8/1~12, 16~18)、外部模試の予定について説明しました。

APUコースは、立命館大学の職員とAPUへ進学した卒業生から、今後の資格審査や到達度試験、APUの魅力などについての説明がありました。

■まとめ

5月のGW全日自主登校(6日間)の参加者64名/96名中(67%)や、夜間自習参加者の65名/96名中(68%)という数字と、私語なく真剣に取り組む姿勢が3ヶ月間継続できたことは、生徒・教員にとって大きな達成感となりました。

また、早朝より40名を超える自習生が、教室、職員室、進路指導室、中講義室を舞台に毎朝頑張っています。質問者も激増し、朝7時15分~夜8時まで質問が絶えることはありません。わずかな時間を活用した「音読(吹き)」もようやく習慣化し、「音読少年、音読少女」をあちこちで見かけるようになりました。

『脚力尽くるとき、山更に好し』……ベストを尽くして、自分の頑張りが結果に出ることを知ったとき、何とも言えない幸福感が体の中から湧き上がってくるでしょう。



1学期中間考査を終えて

教務主任 橋本隆史

去る5月23日～26日に中間考査が実施されました。すでに皆様のお手元にも成績表が届いていることと存じます。各学年毎の平均点は下表の通りです。

まず中学1年生についてですが、過去の中1生と比較して、全体的に良好な結果でした。また、高校1年・APU/立命館コースもまずまずの平均点であったと思われます。個別の成績については、すでにクラス担任から各生徒に対してアドバイスを指導が行われていると思われるので、今後の試験に備えて各自万全の準備がなされることを期待します。とりわけ中学段階では“苦手科目をつくらない”ということが非常に重要です。中学時から特定教科で積み残しがあつたり苦手意識を抱くようになると、高校に上がって大学進学を考える際に進路が大きく制約されてしまいます。例えば、医学科を目標とする者にとって数学・理科が苦手であることは致命的ですし、英語が苦手であれば文系・理系を問わず高偏差値の大学受験が困難になってきます。中学校課程では全ての教科・科目で7～8割以上の得点を目標に、ムラ無く学習することが求められます。特に中学最初の1年間は学年・教科の先生方の指導にきちんと従い、学校・家庭における学習習慣の確立に努めて下さい。

他の学年についてですが、下の表でも分かる通り、学年が進むにつれて平均点は下降傾向です。もちろん学習内容の高度化によって難易度が上昇していることも一因でしょうし、文理選択・科目選択

を控えて科目ごとの力の入れ様に差が出てくることも関係するかも知れません。しかし全教科平均の最高点は下がっていないので、全体的に学力差が拡大しているとは見てことができます。特に高校生には考査点は単位認定に直結する部分なので、全ての科目に対して初心に戻って真摯に取り組む姿勢が求められます。

最後になりますが、今年度より本校では教科毎（実技系教科を除く）の「評点」に占める「考査点」と「平常点」の比率を統一することになりました。これは全ての生徒に対して公平な評価を行うための、評価基準統一に向けた第一歩です。「平常点」とは、考査の点数に表れない日頃の学習の取り組みのうち、出席状況・授業態度・課題への取り組み・小テストへの取り組み・実技などを評価したもので、どの点を重視するかは教科・科目の特性により異なります。

教科別評点内訳

- 数学, 国語, 社会, 理科 (IWATAコース)

評点 (100点)

＝考査点 (80点) + 平常点 (20点)

- 英語, 理科 (APUコース)

評点 (100点)

＝考査点 (70点) + 平常点 (30点)

	全教科平均点	5教科平均点	3教科平均点	全教科平均最高点
1年	77.8	78.6	82.6	96.5
2年	71.3	72.5	71.9	97.7
3年	66.9	68.3	68.8	97.2
4年 (IWATA)	66.9	66.9	65.9	95.2
4年 (APU・立)	75.3	75.3	75.3	90.0
5年 (IWATA)	63.2	63.2	56.6	97.0
5年 (APU・立)	71.8	71.8	67.5	93.3
6年 (IWATA)	70.1	67.9	67.7	94.7
6年 (APU・立)	81.6	81.6	80.2	94.7

中体連のアルバム



学園だより

高校総体のアルバム



6月部活動の結果報告 特活主任 野村哲也

★大分県高等学校総合体育大会 サッカー部

1回戦 岩田 0-4 日出陽谷
フィジカルコンタクトの激しい相手に最後までペースを掴むことが出来ず、自分達のサッカーが出来ないままの悔しい試合となりました。高校3年生にとっては大事な引退試合であったのに、とても残念な終わり方となってしまい、全員が号泣しておりました。しかし、これもスポーツの世界では大切な経験であり、必ずどこかで役に立つと思いますので、しっかり気持ちを切り替えて、受験では他人に勝負を左右されない実力を付けるところまでこだわって取り組んで欲しいと思います。(顧問：野村)

硬式テニス部

男子 1回戦 岩田 0-2 中津南
女子 1回戦 岩田 0-2 大分豊府
台風により日程変更となり、大会当日も強風の中での試合でした。結果としては男女とも1回戦敗退でしたが、少しずつ成長している部分が見えてきました。今はまだ結果がでなくても、コツコツとがんばって取り組んでいることが夏から冬にかけて結果につながるよう部員ともども努力していきたいと思います。(顧問：川元)

女子バレー部

2回戦 岩田 0-2 安心院
課題が多く見つかった試合でした。私学大会に向けて頑張ります。(顧問：中川)

女子バスケット部

2回戦 岩田 21-125 情報科学
ベスト8の強豪に完敗。高校2年生が2名・1年生が9名の若いチームにとって、とてもよい経験・勉強になりました。私学大会に向けて練習を積んで、今大会以上のよい試合が出来るように頑張らせませす。応援ありがとうございました。

(顧問：野田)

ラグビー部 (10人制)

岩田 5-29 大商・大分西合同
岩田 45-0 玖珠農
岩田 5-39 竹田

何とか念願の一勝をあげ、4チーム中3位で賞状をいただきました。初めて試合に出たメンバーも活躍し、チームとしても私学大会に向けての課題が見えてきました。

(顧問：立川)

女子ソフトテニス部

[団体戦]

1回戦 岩田 0-3 大分南

[個人戦] 1回戦

佐藤・田吹(岩田) 0-4 白杵

矢野・山村(岩田) 4-3 国東双国

2回戦

矢野・山村(岩田) 0-4 楊志館

高校1年生だけのメンバーで挑んだので、高校の試合が初めての選手もいました。団体戦は2ペアで挑み、厳しい状況の中でも前向きな姿勢が見受けられました。個人戦は大雨の中の試合で、よく頑張ったと思います。私学大会に向けて、また練習に励んでいきます。(顧問：松永)

剣道部

[団体戦]

1回戦 岩田 2-3 白杵

[個人戦]

1年：神崎雄、田代… 2回戦敗退

3年：神崎達 … 2回戦敗退

団体戦は勝てるチャンスがあっただけに残念な結果でした。高3の2名が気持ちの入った試合をし、頑張ってくれました。「絶対に諦めない！」試合で見せた気迫をもって大学受験に向かってもらいたいと思います。(顧問：阿部)

陸上部

【男子三段跳】

5の1 姫野衛 **第2位** 13M41

【男子200M】

4の2 佐藤雅 **第6位** 22秒39

両名共に格上の高校3年を相手に、自己ベストの記録で6/16~6/19に行われる北九州大会〔長崎県〕の出場権を獲得しました。また円盤投に出場した5の3 高山宙輝選手は一次予選以上に記録を伸ばしましたが惜しくも入賞には届きませんでした。北九州大会に出場する姫野・佐藤選手は更に体調を整え大会にチャレンジしてもらいたいと思います。(顧問：上久保)

フェンシング (個人参加)

女子フルーレ個人戦

6の2 皇甫蘭が出場しました。

3回戦で1-4、準決勝で4-4という厳しい試合もありましたが、結果**全勝で優勝**し、全国大会と九州大会の切符を手に入れました。すぐ国体最終予選も控えており、



休み暇もほとんどない状態が続きますが、全国大会での優勝を目指して頑張るということでした。（顧問：畑島）

野球部

第42回大分県高等学校軟式野球大会

岩田 0-1 宇佐

チャンスを生かせず惜敗でした。1点、1打席、1球の大切さを意識して7月の全国大会予選に向けて頑張らせたいと思います。（顧問：池辺）

★中体連市総体の結果

野球部

1回戦 岩田 4-12 神崎

初回到2年清田のタイムリーで3点先取るも逆転負け。しかし、最終回到3年生溝部、前川のヒットで得点するなど意地を見せました。3年生が3人と少ない中で最後までよく頑張りました。（顧問：池辺）

女子バスケット部

1回戦 岩田 10-62 植田

技術面では少しずつ成長がみられるものの、ボールに対する執着心・“何がなんでも”という気迫が感じられない残念な内容でした。もっとできる選手達。1から鍛え直しです。（顧問：野田）

男子バスケット部

1回戦 岩田 45-90 植田

前半は速攻で相手に点を取られる場面が多く、集中力や切り替えの遅さが露呈しました。しかし中3を軸に、仲間同士で声をしっかりかけ合って修正していこうとする姿勢や、一致団結して粘り強く攻めようとする気迫が見られ、プレッシャーに負けることなく最後まで戦えました。高校でも頑張ってくれることが期待できる、良い試合でした。（顧問：伏見）

サッカー部

1回戦 岩田 0-2 城東

個々はよく頑張ることができました。が、ボールをつなげられる場面が少なく、チームパフォーマンスができませんでした。これができるためにも、今後は”献身”・”粘り”・”集中力”といったメンタリティをより一層伸ばしていきます。

（顧問：河野）

女子バレー部

1回戦 岩田 0-2 明野

2年生チームでよく頑張ったと思います。しかし、体力面・技術面・精神面すべてにおいて足りないということを痛感する試合でした。新人戦に向けて頑張ります。

（顧問：中川）

硬式テニス部

[団体] 男子 岩田A 0-2 大分豊府B
岩田B 0-2 野津原

女子 岩田A 0-2 大分豊府A
岩田B 0-2 大分豊府C

[個人] 男子 2R進出：衛藤、岡部

女子 3R進出：白石、秋満

今年度から硬式テニスが中体連に正式加盟された最初の大会でした。ジュニアでメンバーを固める学校が多いなか、中3部員4名と中1部員17名が男女関係なく互いに応援しあい、団体戦を精一杯戦うことができました。特に中3の部員にとっては最初で最後の市総体となりましたが、それぞれ不安や緊張があるなかで後輩17名をまとめながら精一杯頑張ってくれました。中1の部員も個人戦で2R・3Rに進出し、次の県総体に向けて、日々の練習を大切にしながら部員とともに努力を重ねていきたいと思えます。（顧問：川元）

ソフトテニス部

[団体] 男子 岩田 0-3 大東
岩田 1-2 佐賀関

[個人] 男子 4ペア出場 1回戦敗退

女子 山口・生田 0-4 碩田

全体的に少しですが、進歩が見られる試合となりました。しかしまだ基本をおさえていけない部分があるので、練習で意識していきたいと思えます。今後は中3が引退し、2年生だけのチームになります。新たな気持ちでまた練習に励んでいきたいと思えます。（顧問：松永）

剣道部

[団体] 男子 岩田 2-3 明野
岩田 2-3 神崎

[個人] 3年：佐藤・内山 … 3回戦敗退
2年：石角 … 3回戦敗退

チャンスもありましたが、あと一歩力及ばず…3年生は中学最後の大会になりましたが、この経験を活かしてステップアップしてほしいと思えます。新人戦に向けて精進

します。（顧問：阿部）

卓球部

[団体] 岩田 0-3 判田

岩田 0-3 大東

[個人] 3年：津村、尾家 … 2回戦進出
最後までねばり強く集中して戦ってくれました。中3は、自分の戦術がみえてきたように思います。戦術をこれからもっと深めていってほしいと思えます。初出場の選手も頑張ってくれました。（顧問：後藤）

陸上部

【男子800M】3の1小代裕也 **7位**

小代選手は自己ベストの記録〔2分15秒〕で決勝に進出、7位に入賞し中学県体の出場権を獲得しました（8位まで出場権）。中距離種目での入賞は立派だと思います。また、3の1伊飼浩規選手・3の3松井尚大選手・3の1酒見真由選手・3の2得丸奈央選手が、800M・200M・走幅跳に出場しましたが入賞はなりません。今回大会に出場しなかった他の部員も「風力係補助員」として大会を陰で支えてくれました。感謝したいと思います。

（顧問：上久保）

新体操（個人参加）

1年 山下理紗子

クラブ15.899（**5位**）〈1位は22.033〉

リボン16.033（**5位**）〈1位は21.900〉

総合 31.932（**5位**）〈1位は43.933〉

今回の大会は県大会の予選を兼ねていましたので山下さんは夏に行われる県大会出場が決まりました。（引率：藤村）

バドミントン（個人参加）

3年 長瀬慶也

1回戦 21-8, 21-7

2回戦 21-7, 21-10

準々決勝 7-21, 23-21, 21-23 **ベスト8**

5位～8位の順位決定戦で6位となりました。目標のベスト4にはとどきませんでした。県体でもベスト4を目指して頑張るそうです。（引率：上杉）

柔道（個人参加）

男子50kg級 2の2安東 航星 **1位**



カウンセラーだより スクールカウンセラー 江藤行大

みなさん、こんにちは。スクールカウンセラーの江藤です。雨が続き毎日ですね。みなさんかわりありませんか？

ぼくは毎週土曜日のカウンセリングの日に、大分川沿いの道を走って岩田学園にやってきます。渋滞を抜けて橋の向こうに岩田学園を囲む森の緑を見つけるたびぼくはなぜだかとても安心した気持ちになっていくのを感じます。

今回のスクールカウンセラー通信は、ぜひ森の木々のお話しをしたいとおもいます。

ぼくたち人間は、20万年前のアフリカに生まれました。

この地球を我が物顔で振る舞うぼくたち人間は、本来は他の多くの動物と比較して、力も弱くて、足も遅く、自らの体を守る毛も薄いとて脆弱な種族です。

そんなぼくたち人間の祖先が安心して暮らすためにはサバンナを跋扈する獰猛な動物たちを避ける必要がありました。そしてやがて動物たちが早く走ることがかなわない奥深い森の木の上に暮らしていったというのです。

このことは、最近の遺伝子研究によって解析された結果でも明らかになりつつあります。世界中に住む全ての人間の遺伝子を調べると、その中に組み込まれたミトコンドリアDNAという遺伝情報全てに共通に、アフリカの一人の女性のものが含まれていることを明らかにしました。この“ミトコンドリア・イブ”と名付けられた地球上の全ての人たちの共通の母もまたアフリカの森の奥深くに暮らしていたといわれています。

そんなぼくたち人間にとって森は特別なものです。

森から抜け出して町を作り文化を創り出してから長い時間を経た現在でも森の中に足を入れるたびにどこか落ち着いた気持ちになるのは、安心できる場所としての古い人類共通のミトコンドリアイブの記憶が由来しているのかもしれませんが。そしてそれだけではなく森には多くの力があることをぼくたちは本能的に知っている様な気がします。

ひとつは中学に入ってしばらくして学ぶ光合成のこと。

それは植物が光合成の過程で二酸化炭素を酸素に変えてくれることです。海を臨む大きな工場が広がる大分の町は、車や電気やゴミ処理とこの町で生活するたくさんの人々の暮らしの中で二酸化炭素が吐き出さ

れ続けています。

ぼくたちが生きていくために不可欠な酸素。それは決して無限のものではなく、だけれどもぼくたちが当たり前のように甘受できるのは、この森の光合成のおかげだともいえます。

そしてぼくたちのいる岩田学園を囲む緑の森の樹々も絶えず休むことなく、汚れていく空気を新鮮な酸素に変えていってくれています。それはぼくたち岩田学園だけじゃなくこの町全体のために大きな役割を果たしてくれているのかもしれない。

ふたつ目は森が作り出す自然のクーラーのこと。

授業や部活でいつのまにか少しずつストレスを貯めていくぼくたちの体と心はプラスイオンでいっぱいになっていきます。だけれども冷たい朝露に濡れた樹々の隙間を大きな海に広がる大分川から流れてくる風が葉の間を抜けるたび、たくさんのマイナスイオンを含んで冷やされてぼくたちの教室に流れてきます。授業の合間に窓を開けて教室いっぱいそんな風をいれるとスッキリした気持ちになるのもそんな森の持つ自然の癒しの効果の一つだといえるのだとおもいます。

三つ目はこの森が変わらないでそこにあることです。

ぼくたちの毎日はそれを構成するすべてがその形を変えていく宿命を持っています。そしてもちろん岩田の森を作る緑の木々も命のあるもの。だから少しずつその形を変えていきます。だけれどもその速度は忙しいぼくたちの時間の流れと比べてはるかに緩やかで岩田学園の中に立つあの大きな木もその高さになるまで何十年もの時間をかけたのだらうと思います。そんな何百年の時間の中でこの木々の足下をたくさんの人が暮らして、過ぎていくのをあの大きな木々は見守り続けてきました。

十数年前にぼくもみなさんと同じ制服を着てこの森に囲まれた場所で毎日を過ごしていました。いつからかぼくは首にネクタイを締めて今は同じ場所からあの木々を見上げています。

新しい場所に歩き出すと言うことはとても勇気のいることです。

だけれども変わっていくことを自分の中に取り込んでいくこと。それを繰り返すことができるのは、変わらないものも確かにあることと知っているからかもしれません。そ

れは家族であったり友達であったりそしてあの岩田の森の緑だった様な気がします。

ぼくたちの毎日を見守る岩田の森はたくさんものをぼくたちに与えていつかそこから離れた場所に暮らすようになって変わらぬみなさんを見守り続けてくれるのだらうと思います。どうか一度そんな思いを持ってあの木々を見上げてください。

そしてこの場所を大切にするためには何が必要なのかを考えてもらえたらと思います。

最後に、ぼくは、ずいぶん昔ある一人の若い女の人とお話をしたことがありました。岩田学園のすぐ近くに住んでいたその方はいつも舞鶴橋の上から眺める岩田の森がとてもいいものだと思いついぶんと熱心に話していたのを覚えています。

それから大分時間が経った後にその女性には実はある有名なアーティストの専属の作詞家でその提供した歌詞の中にはこの町の風景を歌ったものが多くあるんだということを知りました。そのうちのひとつ「僕の森」。この曲は、彼女の生まれ育ったこの大分の町、岩田の森のことを歌った歌だということです。みなさんもこの曲を耳にするとどこか懐かしい気持ちになるのかもしれませんが。もしもそう感じたならそれはすでもうあの岩田の森がみなさんの故郷になっていっているのだからかもしれません。毎日のこと。これまでのこと。そしてこれからのこと。なにかみなさんの心の中にどこかはれない気持ちがあったなら一度カウンセリングルームに遊びに来られませんか？もちろん「僕たちの森」の話もしましょう。

毎週土曜日の9時から18時まで。7号館のカウンセリングルームでみなさんがドアをノックするのを待っています。



「僕の森」遊佐未森

制服・服装の遵守規定

生徒指導主任 楠田克彦

今月より夏服更衣になりました。そこで、制服の遵守規定を掲載します。ご家庭でも熟読の上、登校時にご指導お願いいたします。

(1) 服装

男子 冬服 指定の学生服上下。

注意:上着を脱ぐ場合には、白のYシャツを着ていること。上着の下からシャツのすそを出さないこと。また、セーター類もすそやそでを出さないようにすること。上着のボタンをすべて留めること。

夏服 指定の学生服ズボンに、白のカッターシャツ(長袖でも半袖でも良い)または白の開襟シャツを着用すること。

注意:カッター・開襟シャツのすそはズボンの中に入れ外に出さないこと。下着(Tシャツ)は白とすること。

防寒着 学校指定の防寒着および黒か紺の単色のものを着用すること。室内での着用は原則として禁止。

女子 冬服 指定の制服上下。指定のブラウスを着用すること。

注意:ブレザーの下からブラウスのすそを出さないこと。また、セーター類もすそやそでを出さないようにすること。上着のボタンをすべて留めること(ただし、中学は集会以外では、上着の一番上のボタンをはずしてもよい)。

夏服 指定のスカート(またはスラックス)とブラウス(長袖でも半袖でも良い)。

注意:ブラウスのすそはスカートの中に入れ外に出さないこと。防寒着 学校指定の防寒着および黒か紺の単色のものを着用すること。室内での着用は原則として禁止。

注意:夏冬ともにスカートの丈は、膝にかかる程度の長さにする。上部を巻いたりベルト等でたくし上げたりして短くしないこと。

注意:ソックスの色は白、黒、紺の単色とし、長さは膝下(ハイソックス)までとする。一般的な形のものとし、ルーズソックス、ニーハイ、スニーカーソックスなどは禁止とする。

(2) 頭髪など

頭髪を染色したり、付け毛をしたり、パーマをかけたりしてはいけない。ピアスなどの装飾品を身につけてはいけない。華美な髪留め類は控えること。化粧をしてはいけない。

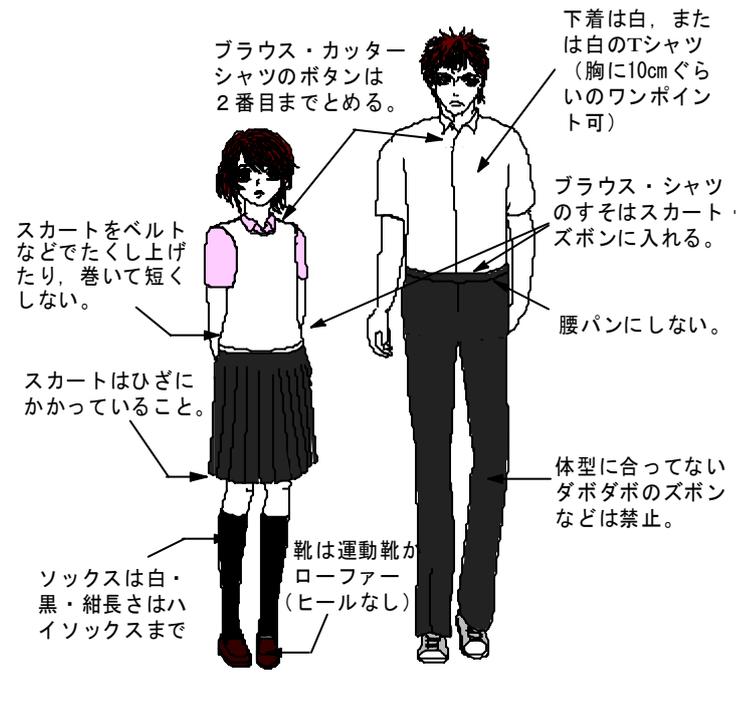
夏服をCodに着こなそう!

女子夏服

- ・指定のブラウス(4色) 長袖でも半袖でも可
- ・指定のスカート・ズボン (スカートは膝にかかる程度の長さ)
- ・指定のベスト(希望者)

男子夏服

- ・白の開襟シャツまたはカッターシャツ 長袖でも半袖でも可
- ・指定のズボン



ほけんしつから

養護教諭 野村めぐみ



6月に入り、保健室利用者が増加しています。

疲れや不規則な生活などからくる体調不良のため保健室へ来室するお子さんたちが目立ちます。睡眠・栄養を十分にとり生活リズムを整えて欲しいと思います。

また、少数ではありますが中には百日咳・インフルエンザに罹患しているお子さんもいます。各ご家庭での健康観察をよろしく願致します。

子宮頸ガンワクチン接種(5年生)のお知らせ

昨年度、ワクチン不足のため延期となりました子宮頸ガンワクチン接種を5年生女子(昨年度希望者14名)に行います。5年生は公費接種となる期限が迫っていますので、先に実施致します。大変お待たせして申し訳ありませんでした。

日時: 1回目…6月25日(土)放課後
2回目…7月23日(土)補習後
3回目…未定

場所: 保健室

医療機関: 福光医院(学校医)

持参物: 問診票(配布します)・母子手帳

*他学年のワクチン接種につきましては後日お知らせ致します。

大変申し訳ありませんがもうしばらくお待ちください。

保健室奮闘記

ある日の保健室。「せんせー。昨日な。AKBの総選挙でゆうこが2位やったんよ。マジへこむ。もう何もやる気でらん。気分悪い。」と高校生の女の子が来室。

「せんせーは誰が好きなん?」

「私は娘がゆうこ好きやからゆうこかな〜。」
「やるー?やっぱゆうこやる?なんであつちゃんが1位なんやる。はあもうやってられん。」

聞くところによると、このAKBの総選挙の結果を受けて落ち込んでいる生徒が他にも多数いるとのこと。総選挙のために多額のお金をつぎ込んだ生徒もいるとのこと。

この日の保健室はAKBの話で持ち切りでした。学校中そうだったのかなと思わせるほど。

数年前までは、SMAPや嵐が原因で気分不良の子もたちが保健室へ来ていたけれど今はAKB48なのですね。

保護者懇談会たくさんの出席ありがとうございました。うっとうしい梅雨の季節となりました。時節柄、くれぐれもご自愛なさいますように。

集まれ！未来の岩田生！夏のイベントのご案内



平成23年度 岩田中学校・高等学校 **夏のオープンスクール開催!**

7月31日(日) 9:00~12:15
対象: 小学校4・5・6年、中学校2・3年

見たい/知りたい! 岩田をのどきに行こう

9月4日(日) 8:30~11:45
対象: 小学校6年生

例年ご好評をいただいています夏のオープンスクールを今年も7月31日(日)に行います。岩田中学を目指す小学生に加え、APU・立命館コースを目指す中学生のための楽しい授業を行う予定です。

詳しくはホームページでご確認ください。参加申し込みはホームページ上か法人事務室の方へお願いします。本校に興味をお持ちのお知り合いの方がいましたらぜひお誘いください。よろしくお願いします。

●夏のオープンスクール

日時：7月31日(日) 9:00~12:15
対象：小学校4～6年生
中学校2・3年生

募集人員：100名程度

授業科目：小学校（英語，算数，理科，社会）のうち2科目選択
中学校（English，APU講座）

保護者：学校説明&授業見学とティータイム(本校職員・生徒と懇談)

●岩田中学フレテスト（参加無料）

日時：9月4日(日) 8:30~11:45

募集人員：250名程度

入試3ヶ月前の実践模試です。得点・合否判定・順位等をお知らせします。

国語(60分 100点)，算数(60分 100点)
要項は7月末にホームページで発表いたします。

保護者会主催『真夏の寺子屋』 総務主任 成松 茂

昨年好評をいただきました保護者会主催の夏季休業中の学習支援事業（「真夏の寺子屋」）を今年も実施いたします。昨年この企画に参加した生徒におこなったアンケートでは、「参加してよかった」「来年も参加したい」という意見が共に約7割を占めました。また、自分が目標とする大学に進学した先輩に、問題の解き方だけではなく、進路相談にも乗ってもらってとてもよかったという意見も寄せられました。

今年8月1日から10日まで、日曜を除く9日間、学校の教室を借りて自習室を設置します。期間中は各学年の先生に出欠を確認していただき、卒業生を監督者として

配置し、自由に質問・相談ができる体制を整えています。難関校に在籍する現役学生にアドバイスがもらえるよいチャンスだと思いますので、多くの生徒にこの企画を利用してもらいたいと思います。

申込みは、**6月24日(金)が締切日**となっています。昨年は「夏休みの部活の練習スケジュールがまだ分からないため、子供が自習に参加する日時が決められない」とのご意見を多くいただきましたが、参加日時は申込み後に変更可能ですので、お子さんの参加を希望される場合は、現時点での参加予定日時をご記入のうえ、申込み用紙をクラス担任にご提出下さい。

学園だよりも掲載

ホームページをご覧ください。

<http://www.iwata.ed.jp/>

岩田学園総務部広報課

大分市岩田町1-1-1

学校法人岩田学園

電話 097(558)3007

Fax 097(556)8937

Email iwata@iwata.ed.jp



21世紀の有為な人材を育成する

岩田中学校・高等学校